

「街を花と笑顔で彩りたい」 宮前平の元気を咲かせる お花屋さん

八幡園

東急田園都市線宮前平駅を降りると、八幡園（川崎市宮前区宮前平、安藤征夫社長、044・854・1991）というお花屋さんが一際目を引く。店頭では、安藤社長夫人をはじめ従業員みなさんが明るく出迎えてくれる。こだわって仕入れた見事な胡蝶蘭は、昔から変わらない人気商品だ。

社長のお母様が花好きで、50年ほど前に、お母様への感謝の気持ちから夫婦で植えた花を売り始めたのが、商売のきっかけだったという。当時から、毎朝5時に市場へ行つては色とりどりの花を車いっぱいに買い付け、その日のうちにすべてが売り切れてしまうほど忙しい日々だったと振り返る。

今も、「都心へわざわざ出かけなくても、地元で良いお土産を用意できるようにお花屋さんを作りたい」という想いから、仕入れる花に対しても決して妥協はせず、常に良い品物を夫人自ら選び買い付けする。アレンジメントや花束は顧客の希望や用途、予算に合わせて柔軟に対応しており、店頭販売以外にも、舞台装飾、生花祭壇の作成、オフィスへの活けこみや花壇の植えこみ、フラワーコンテストへの出展など、さまざまな業務・活動を行っている。また、同店

のツイッターでは、仕入れたばかりの花や商店街の情報をタイムリーに知ることができる。

どんな時でも「この子はね」と花の特徴や育て方を一つひとつわが子のように慈しみながら語り、「八幡園から元気を発信し、宮前平の街をさらに良くしていきたい」と笑顔を決やさない夫人からは、花に対する愛情の深さが伝わってくる。

日々道行く人たちに掛ける挨拶は街の名物であり、誰もが元気になる。これからも、宮前平をあふれる花と笑顔で彩ってくれることだろう。沿線にお住まいの方はぜひ一度、足を運んでみてはいかがだろうか。

詳しくはホームページにて

(www.yawataen.jp)



「八幡園」から元気を発信!!